

遺伝子組換え作物分科会（第21期・第1回）議事要旨

日 時：平成21年6月18日（木）13：00～15：00

場 所：日本学術会5階 5-C（1）会議室

出席者：石毛、射場、河野、小出、三枝、佐々木、佐藤、塚谷、西澤、野並、福田

欠席者：鎌田

配布資料：

資料1 農学委員会・食料科学委員会分科会の設置について

参考 日本学術会議分野別委員会及び分科会等について

遺伝子組換え作物分科会名簿（氏名・所属）

議 事：

1. 参加者の自己紹介に続き、分科会委員長に西澤、副委員長に佐藤、幹事に佐々木および小出が選出された。
2. 分科会設置期間（H21.4.6～H22.4.5）から逆算し、今後のスケジュールを決めた。
すなわち、分科会をほぼ2カ月に1回開き、上記の「参考」の「V分科会の提言及び報告」に沿うよう、今年中に分科会としてまとめ、設置期間末までに報告あるいは提言を行うこととした。
3. 今後の活動方針について、意見を交換した。
意見交換の中で、組換え作物に絞ること、学術会議として発信できる内容にすることなどが、ほぼ同意された。現場に実用的で役立つ提言にしたいなど、各委員はそれぞれの問題意識を表明した。
4. 結論として次回までに次のアクションをとることとした。
 - ①各委員は、見解を「A4版1枚」にコンパクトにまとめ、8月4日（火）までに、佐々木幹事にメールの添付で送信する。
 - ②見解には、次の点を含むものとする。
 - ・遺伝子組換え作物に関する現状をどう考えるか？
 - ・現状を改善するために、科学者としてできること、すべきことは何か？そのときのターゲットは？
 - ③佐々木幹事は、全委員の見解をまとめ、各委員にメールの添付で送信する。
5. 次回分科会は、8月11日（火）13:00～15:00に開催する。各委員の見解を踏まえて議論を進める。
6. オブザーバーについては議論の進捗に応じて招請すること、また分科会自体は開かれたものであることが確認された。
7. 類似のテーマで行われている他の委員会の情報を知る立場の委員は、情報を佐々木幹事に伝えることとした。またGMOに関する学術会議の活動があれば、佐々木幹事まで伝えることとした。

以上